

<様式1>

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	音楽 I	単位数	2 単位
学 科	農業科	学 年	1 年
教科書		副教材	

学習 目標	音楽の幅広い活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を養い、生活の中の音楽や文化と幅広く関わるができる。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などに関わり、音楽の多様性に理解を深めているとともに、工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実技テスト ・グループ活動 ・プレゼンテーション
思考・判断・表現	音色やリズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すか表現意図を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実技テスト ・グループ活動 ・プレゼンテーション
主体的に学習に取り組む態度	主体的、協同的に歌唱や器楽、鑑賞、創作等の学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実技テスト ・グループ活動 ・プレゼンテーション

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	オリエンテーション ～未知なる音楽の世界を求めて～ 西洋音楽の源流を耳でたどろう ～中世・ルネサンスの音楽～ ギターアンサンブルを楽しもう イメージをもって歌おう ～「夏の思い出」のヒミツを手掛かりに～	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌や親しみやすいJ-popの歌を楽しみながら高校音楽の学習意欲を高める。また、その楽曲にふさわしい発声や歌唱表現を理解し身に付ける。 ・西洋音楽の源流を中世からルネサンスの音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習でたどり、その良さを自ら味わって聴く。 ・ギターの奏法を身に付けるとともに曲想技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。 ・中学校の既習教材である「夏の思い出」の魅力を探る学習を通して、曲に対する自己のイメージを豊かにし、歌唱表現を創意工夫する。
2 学 期	歌の旅に出よう ～イタリアの民謡、英語のライム、ドイツ歌曲の魅力を感じよう～ 物語と音楽との関わりに注目しよう ～総合芸術における音楽の魅力～ 世界の様々な音楽の魅力 ～和楽器の音と世界の楽器の音～	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア語、英語、ドイツ語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などとの関わりに関心を持ち、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 ・オペラやミュージカルの総合芸術において物語と音楽がどのように関わり合いながら表現上の効果をもたらしているかを考え、その楽曲の良さを味わう。 ・日本の音楽と世界の諸民族の音楽を鑑賞し、音色、速度、旋律、強弱、テクスチャ等を知覚したり、諸民族の声の音楽と日本民謡の比較することで音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を理解する。
3 学 期	変奏曲の魅力を探ろう ～パガニーニが残した名変奏曲～ 和太鼓を演奏しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の根本的な技術である変奏の技法に関心を持ち、主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのようにかかわっているかを理解する。 ・和楽器に触れ、日本の伝統文化について知る。また曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技法を身に付け、器楽で表している。

その他	
-----	--

〈様式1〉

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	2年
教科書	音楽Ⅱ Tutti Plus	副教材	

学習 目標	様々な音楽活動を通して、音楽文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重し、その価値を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培う。
----------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景などとの関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	様々な音楽活動に関心をもち、主体的・共働的に学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ワークシート ・実技テスト

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	歌唱 クラスの歌声を響かせよう 鑑賞 吹奏楽の魅力味わおう 日本の音風景を感じ取ろう 器楽 ギターで弾き語りをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・なじみのあるJポップの歌を、歌詞の内容や作詞者、作曲者のメッセージを考えながら歌い、音楽Ⅱの学習意欲を養う。 ・吹奏楽とオーケストラの響きを比較しながらイメージ豊かに聴く。 ・西洋の春の音楽と日本の春の音楽を比べ、それぞれの良さに気づく。 ・ギターの奏法を身に付け、高める。個性豊かに表現を創意工夫しながら演奏する。
2 学 期	創作 音階や音素材の特徴を手掛かりに音楽をつくろう 鑑賞 交響曲の仕組みを知ろう 歌唱 歌の旅に出掛けよう	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し、個性豊かに創作表現を工夫する。 ・モーツァルト作曲「交響曲第40番」を通して、オーケストラの響きやソナタ形式の面白さを味わう。 ・イタリア語、ドイツ語、フランス語の言葉の特性と曲種によって生み出される表現上の効果を理解し、個性豊かに歌う。
3 学 期	鑑賞、歌唱 世界の様々な音楽の魅力を知ろう 器楽 和太鼓を演奏しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・諸民族の楽器と和楽器の比較、また世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽の多様性を捉え、音楽文化や音楽表現の固有性、共通性を考える。 ・和楽器に触れ、日本の伝統文化について知る。また曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技法を身に付け、器楽で表している。

その他	
-----	--

〈様式1〉

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	音楽Ⅲ	単位数	2単位
学 科	農業科	学 年	3年
教科書	Joy of Music	副教材	

学習 目標	音楽の諸活動を通して、感性を働かせて個性豊かに表現したり主体的に味わって鑑賞したりする能力を伸ばし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。また、保育士に必要な弾き歌いや読譜、コードなど実践的な能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・聴取 ・学習プリント
思考・判断・表現	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・聴取 ・学習プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・聴取 ・学習プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	ソルフエージュ、楽典 曲の理解や表現の向上のための基礎 ピアノ弾き歌い 鑑賞(中世～ロマン派)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読みがスムーズかつ正確に行えるようにする。 ・曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの曲を歌う。 ・ピアノ奏法を身に付け、弾き歌いをする。 ・時代背景とともに音楽の移り変わりを理解しながら鑑賞する。
2 学 期	ソルフエージュ、楽典 曲の理解や表現の向上のための基礎 器楽アンサンブル 鑑賞(世界の諸民族の音楽、ミュージカル)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読みがスムーズかつ正確に行えるようにする。 ・曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの曲を歌う。 ・キーボード、打楽器等の演奏技能を高め、奏法や音色を工夫しながら調和のとれたアンサンブルをする。 ・世界の諸民族の祭りや芸能と音楽との関わりについて理解し、それらの曲のリズム、メロディー、ハーモニーなどの音楽要素について学ぶ。また、ミュージカル作品について学び、鑑賞する。
3 学 期	ソルフエージュ、楽典 曲の理解や表現の向上のための基礎 ピアノ弾き歌い 鑑賞(音楽旅行記、日本の伝統音楽)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の読みがスムーズかつ正確に行えるようにする。 ・曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、それぞれの曲を歌う。 ・ピアノ奏法を身に付け、弾き歌いをする。 ・旅行記を読み、アラブ地域の音楽を理解する。また、歌舞伎について学び、鑑賞する。

その他	
-----	--

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	美術 I		単位数	2 単位
学 科			学 年	1 年
教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)	副教材	なし	

学習 目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。
----------	--

評価		
評価の観点		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	授業態度 作品 評価プリント
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発送し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	授業態度 作品 評価プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	授業態度 作品 評価プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」 表現・鑑賞 絵画 「グラデーション」「手のデッサン」 表現・鑑賞 デザイン「デザインの世界」 表現・鑑賞デザイン「メッセージを伝えるポスターをつくろう」(人権ポスターの制作)	小・中学校での図画工作・美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気づいたりして、自分の美術を見つけていく美術1の学習のイメージを理解する。 ものを捉えるための基本的な技能である鉛筆による明暗表現やデッサンにより、5段階の「グラデーション」と「手のデッサン」を通じて、もの見方や捉え方、立体や質感の表現を学ぶ。 「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの役割を理解し、デザインとは何か、デザインするとき大切なものは何かを考える。 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、イラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞するとともに、イラストや文字の形や色、構成などの効果を考えて、人権ポスターを制作する。
2 学 期	表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」 「フォトフレームの製作」 表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」 「アクセサリー(キーホルダー)の製作」 鑑賞 絵画「日本の美術」日本の美術のよさや特質を味わおう	使う人や場面、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインする。自らの趣味や好きなものをイメージして、フォトフレームの装飾についてデザインする。 屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、政策の知識などを理解し、金運や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、洋式など捉えて鑑賞する。
3 学 期	表現・鑑賞 絵画 「印象派絵画の模写」 鑑賞 オリエンテーション 「これからの私と美術」	自分が好きな印象派の作家を選び、その作家の作品を鑑賞して、色彩やタッチ、構図などの表現方法の特徴を理解する。その作風を再現することによって印象派が光と影の移ろいなど、戸外の明るい色彩を捉えようとしたことを理解し、自らの表現に生かす。 生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのかを考えるとともに、「これからの美術と私」について1年間の学びとともに振り返る。

その他	
-----	--

芸術

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	美術Ⅱ		単位数	2単位
学 科	農業科 (生活デザイン科)		学 年	2年
教科書	高校生の美術2 (日本文教出版)	副教材	なし	

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、完成を高め、豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	---

評価		
評価の観点		評価方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする	授業態度 作品 評価プリント
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発送し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	授業態度 作品 評価プリント
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	授業態度 作品 評価プリント

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	鑑賞 オリエンテーション 「美術とは何か」 表現 絵画 「身近なものを描く」「靴のデッサン」 表現・鑑賞 デザイン「メッセージを伝えるポスターをつくろう」(明るい選挙啓発ポスターの制作) 鑑賞 絵画「日本の作家の作品から」	美術Ⅰの学習を振り返り、美術Ⅱの学習のイメージを持ち、美術の学びの深まりと意味について考える。 自分の靴という身近なものを題材にして、靴の形や質感、重量感や明暗などを鉛筆デッサンで表現し、立体的な再現方法を学ぶとともに、自分の持ち物に対する愛着を再確認する。 選挙権や政治制度に対する理解を深めて、国や地方の代表である議員の選挙と投票権の行使、投票率アップにつながるようなイラスト、文字や色彩などからメッセージや伝えるように構成して啓発ポスターを制作する。 日本人作家の絵画作品を鑑賞して、その表現や技法について味わい理解を深める。
2 学 期	表現・鑑賞 デザイン「暮らしの中で使うデザイン」「アクセサリー(キーホルダー)の製作」 表現・鑑賞 彫刻「抽象彫刻の制作」 鑑賞 絵画「琳派の継承と発展の系譜」	自らが使う場面を考えて、機能的で自分の好みの形態をイメージして、デザインを考える。実際に材料を加工してキーホルダーを製作する。 石材の中にある自分のイメージした形を見つけ出し、石材の中から生み出すように、表面を彫刻刀などで削り出していく。彫刻刀を安全に使用することに気を付けて、慎重に制作を行う。 琳派の作品を鑑賞し、その継承と発展の系譜を理解する。琳派の特徴を取り入れた現代のデザインなどの新たな美について考える。
3 学 期	表現 絵画 「空想画の制作」 鑑賞 絵画「外国の作家の作品から」	高校生活の思い出や自分の好きなものをなどを題材にして、自分がイメージした情景について、色彩や構図を考えながら絵画作品に仕上げていく。心象風景やイメージしたものを作品に具体化するために計画的に描いていく。 外国の作家の絵画作品を鑑賞して、その表現や技法について味わい理解を深める。

その他	
-----	--